科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AS311／文学講義　211 (Lectures on Literature 211)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	フランス美術		
担当者名 (Instructor)	高木　麻紀子(TAKAGI MAKIKO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	FRL2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

この講義では、ゴシック時代のフランス美術、特に14、15世紀の絵画芸術とタピスリーを、その背後に横たわる宗教・文化・社会状況を踏まえながら考察し、理解することを目標とします。また作品をつぶさに観察し、その造形的な特質を自らの言葉で記述することができるようになることを目指します。

The aim of this course is to examine and understand French medieval art, particularly paintings and tapestries from the 14th and 15th centuries, through learning its religious, cultural, and social backgrounds. We also aim to observe artworks in detail and describe its forming characteristics in our own words.

授業の内容(Course Contents)

フランスでは長い年月をかけて多様な美術作品が生み出されてきました。14、15 世紀のフランス美術はその最も豊かな成果のひとつであり、のちにルーヴル美術館となるルーヴル王宮が建造されたのも、圧倒的な蔵書数を誇るフランス国立図書館の礎が築かれたのも、まさにこの時代でした。

本講義では、こうした 14、15 世紀のフランス美術のなかでも特に絵画作品とタピスリーに注目し、背後に横たわる宗教・文化・社会状況を踏まえながら考察していきます。

Over the years, France has produced a wide variety of artworks. The French art of the 14th and 15th centuries is one of its richest achievements and it was at this time that the Royal Palace of the Louvre, which later became the Louvre Museum, was built and the foundations of the National Library of France were established.

In this course, will try to examine and understand French medieval art, particularly paintings and tapestries from the 14th and 15th centuries, through learning its religious, cultural, and social backgrounds.

授業計画(Course Schedule)

1. 本講義のガイダンス／イントロダクション
2. ジャン・ピュッセルと 14 世紀イタリア絵画
3. シャルル 5 世によるパリ改造と芸術
4. 南仏アヴィニョンの芸術
5. 15 世紀前半の彩飾写本①『ベリー公のいとも豪華なる時禱書』
6. 15 世紀前半の彩飾写本②〈ブシコーの画家〉、〈ベッドフォードの画家〉
7. 世俗彩飾写本①書物に棲まう動物たち
8. 世俗彩飾写本②ガストン・フェビュスの『狩猟の書』
9. ブルゴーニュ公国の芸術
10. 「死の舞踏」とトランジ
11. ジャン・フーケ
12. タピスリー①《アンジェの黙示録》
13. タピスリー②《一角獣のタピスリー》
14. まとめ――パリのなかの中世をさがして

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前には、シラバスで授業内容を確認し、興味や疑問点について各自調べてみること。
事後には、配布資料やノートを改めて見直し、興味が沸いた作品に関しては積極的に調べてみてください。
その他、授業中に、お勧めの都内近郊で開催中の展覧会情報や美術館情報をお伝えするので、可能ならば足を運び、自分自身の目で本物の芸術を味わうきっかけとしてください(立教大学の学生は、学生証の提示で、東京国立近代美術館、京都国立近美術館、国立西洋美術館、国立新美術館、国立国際美術館の常設展示を無料で、特別展を割引価格で鑑賞することができます)。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(30%)/講義内に行う小テストまたは小課題(複数回)(70%)
講義で用いる資料資料を講義前日までにblackboardにアップします。各自で印刷し(白黒でOK)講義に持参してください。配布

資料の一部は穴埋めになっています。講義中に教員の説明をもとに答えを書き込み完成させてください。

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. 佐々木英也・冨永良子編、1994、『ゴシック2』(世界美術大全集　西洋編10)、小学館
2. 前川久美子、2015、『中世パリの装飾写本』、工作舎
3. 小佐野重利他、2016、『ルネサンス I―百花繚乱のイタリア、新たな精神と新たな表現』(西洋美術の歴史 4)、中央公論新社
4. 秋山聰他、2017、『ルネサンス II―北方の覚醒、自意識と自然表現』(西洋美術の歴史 5)、中央公論新社
5. クリストファー・デ，ハーメル著／加藤磨珠枝,、松田和也訳、2018、『世界で最も美しい12の写本ー『ケルズの書』から『カルミナ・ブラーナ』まで』、青土社
6. 田中久美子、2019、『世界でもっとも美しい装飾写本』、エムディエヌコーポレーション
7. 髙木麻紀子、2020、『ガストン・フェビュスの『狩猟の書』挿絵研究』、中央公論美術出版

その他の専門的文献については授業中に適宜指示します。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

配布資料、講義コンテンツは講義の前日までに Blackboard 上にアップロードします。各自で印刷し(白黒でOK)講義に持参してください。配布資料の一部は穴埋めになっています。講義中に教員の説明をもとに答えを書き込み完成させてください。
講義は対面で実施する予定ですが、今後の状況によっては大学の方針を踏まえてオンラインとなる可能性もあります。オンラインでは主にblackboardを使用する予定です。

【注意事項(Notice)】
使用する美術作品の著作権の関係から講義コンテンツの無断転載・無断使用を固く禁じます

注意事項(Notice)